

リウマチチーム通信

No. 002
2021. 12. 25
薬剤科
鈴木

関節リウマチ治療の主役ならぬ、

主薬『メトトレキサート』!!

メトトレキサートは、免疫抑制作用を持つ抗リウマチ薬で、リウマチ治療の中心となる薬剤です。正しく内服する事で、高い治療効果を得ることができ、痛み腫れの軽減、関節破壊の防止、生活動作を維持する事が期待できます。

しかし飲み方が週に一度と変わった服用方法であり、感染症、骨髄抑制、肝機能障害などの副作用もあるため正しい知識を理解する必要がある薬剤です。

メトトレキサート内服中の注意事項

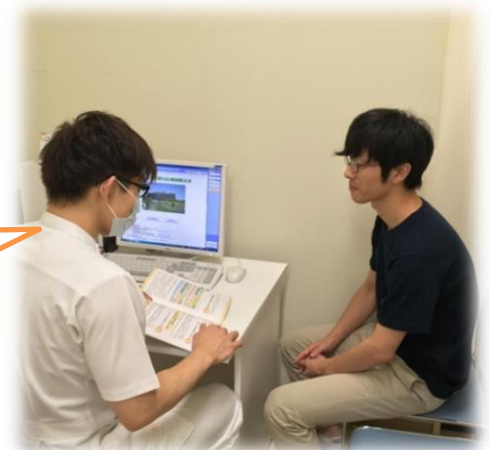
*こんな症状があらわれたら、内服を中止して
主治医、整形外科・総合診療科外来看護師にご連絡ください。

症状	疑われる副作用
高熱(38℃以上)	急性の感染症、間質性肺炎
咳や息苦しさ	肺炎、間質性肺炎
軽い咳や痰が出て、微熱(37℃代)が持続する	慢性の呼吸器疾患 (結核、非結核性抗酸菌症)
食事がとれない程の口内のただれ	腎臓機能の低下
青あざができる 出血しやすい傾向がある	血小板・白血球数の減少
原因不明の皮膚症状(熱感・かゆみ・赤み)	帯状疱疹・蜂窩織炎
首・脇の下のしこり	悪性リンパ腫(血液のがん)

【上の表は外来に掲示されている注意事項】

掲示板を見た患者さんから、症状についてお声がけされることもあります。

薬剤科として他の薬剤の注意喚起・薬剤の導入指導にこれからも努めていきます!



服薬指導の様子